

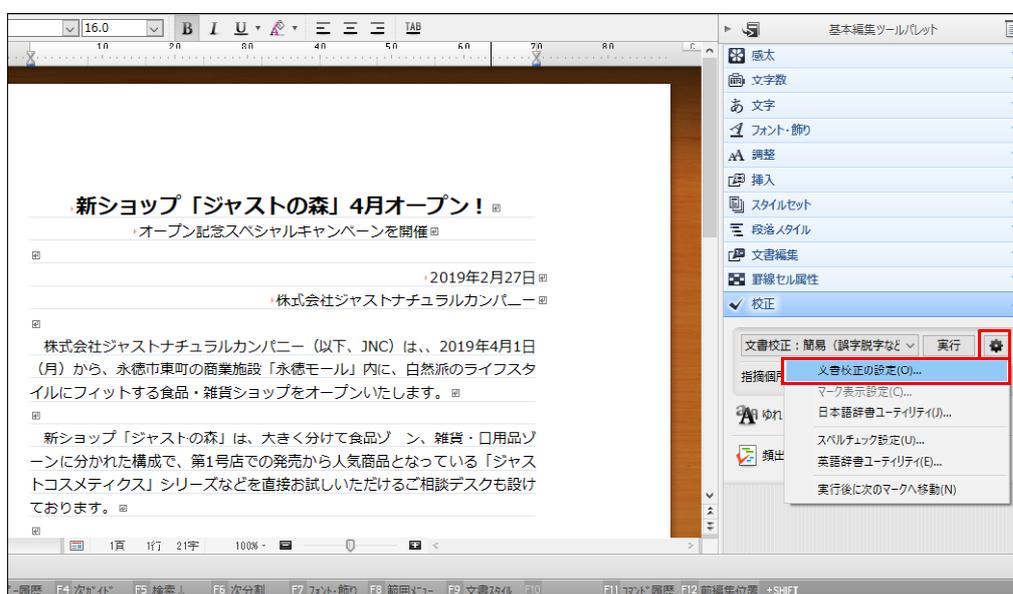
【一太郎 2019 編】

文書内の略称使用を素早くチェックするマル秘テク

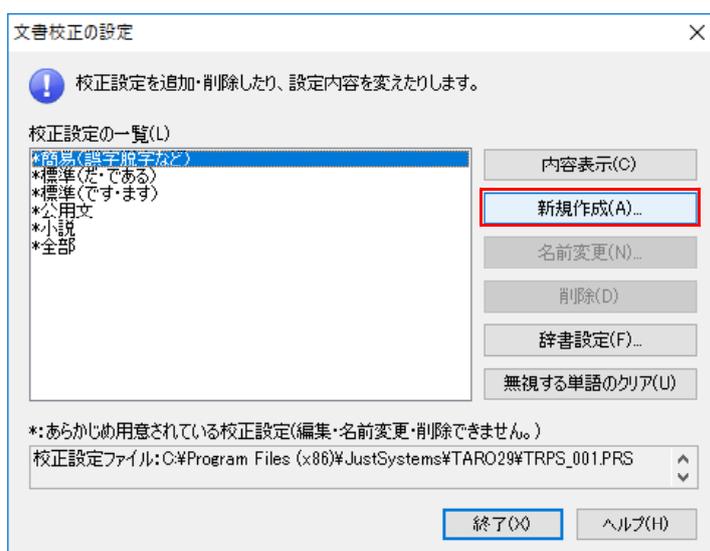
レポートや報告書、リリースなどで、会社名や商品名など、何度も出てくるような長い名称がある場合に、よく「以下、●●」というように略称で表記することがあります。しかし、いったん略したものの、その後まったく出てこなかったり、略さず正式名称のままになっていたりといったミスも起こりがちです。

一太郎 2019 では、文書校正に「略称チェック」という項目が追加されました。文書中の略称について、ミスがないかチェックしてくれます。

1. 文書校正を実行します。[校正パレット] の [オプション] をクリックし、[文書校正の設定] を選択します。



2. [新規作成] をクリックします。



3. [校正設定名] に設定に付ける名前を入力します。[元となる校正設定名] を選択し、[OK] をクリックします。ここでは、[簡易 (誤字脱字など)] を選択しました。

文書校正の設定 - 新規作成

校正設定名(N)
リリース

元となる校正設定名(S)
簡易(誤字脱字など)

OK キャンセル ヘルプ(H)

↓

4. [誤りチェック] タブの [略称表記] をオンにし、[正式名称] で [短め] か [長め] かを選択して、[OK] をクリックします。

[短め] の場合は、略称定義の直前にある名詞や複合名詞だけを、[長め] の場合は、直前までの文章を正式名称とみなします。

文書校正の設定 - 編集

校正設定名 リリース

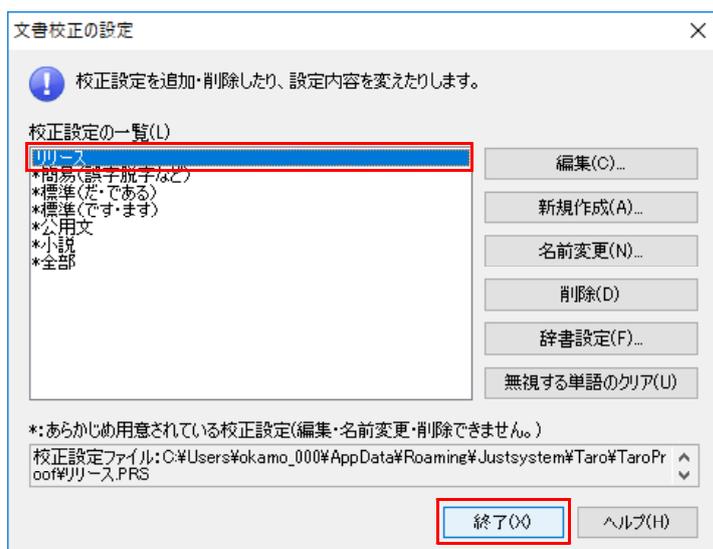
説明(D) 誤字脱字など最小限のチェックをする設定です。

誤りチェック	用語基準	表現洗練	字種統一	長さチェック	環境依存	約物チェック
<input checked="" type="checkbox"/> 誤字脱字(G) <input checked="" type="checkbox"/> 擬音語・擬態語(O)		<input type="checkbox"/> 二重敬語(N)	<input type="checkbox"/> 同音語誤り(D) 少なめ			
<input type="checkbox"/> 仮名遣い(J)		<input checked="" type="checkbox"/> 西暦・和暦(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 西暦・和暦(C) 和暦の初年(F) 統一しない			
<input checked="" type="checkbox"/> 慣用表現(A)		<input checked="" type="checkbox"/> 略称表記(B)	<input checked="" type="checkbox"/> 略称表記(B) 正式名称(L) 短め			
<input type="checkbox"/> 呼応表現(M)		<input type="checkbox"/> 英文スペルチェック(E)				
<input type="checkbox"/> ら抜き表現(R) <input checked="" type="checkbox"/> 括弧内もチェックする(P)						
<input type="checkbox"/> さ入れ表現(S)						

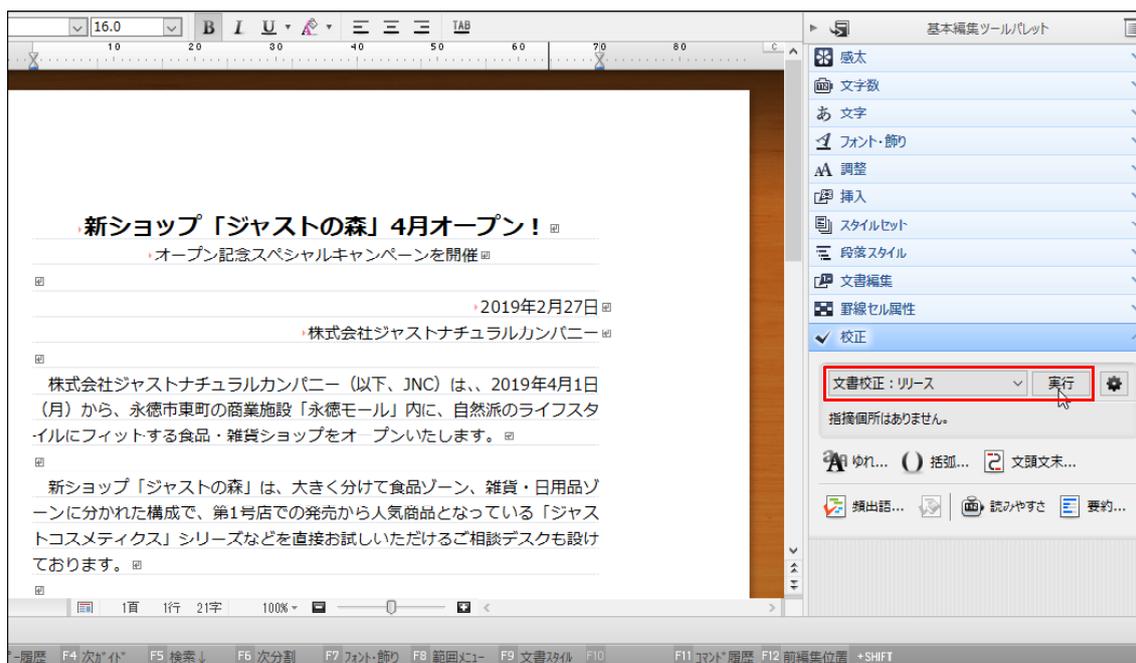
OK キャンセル ヘルプ(H)

↓

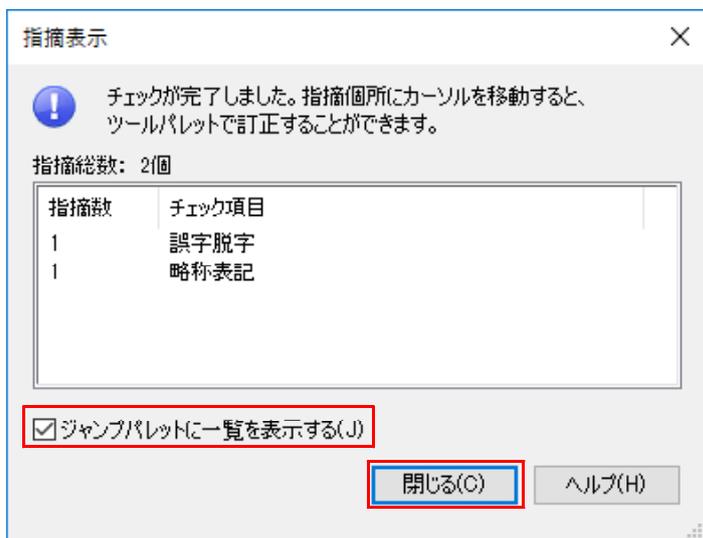
5. 校正設定が追加されたことを確認し、[終了] をクリックします。



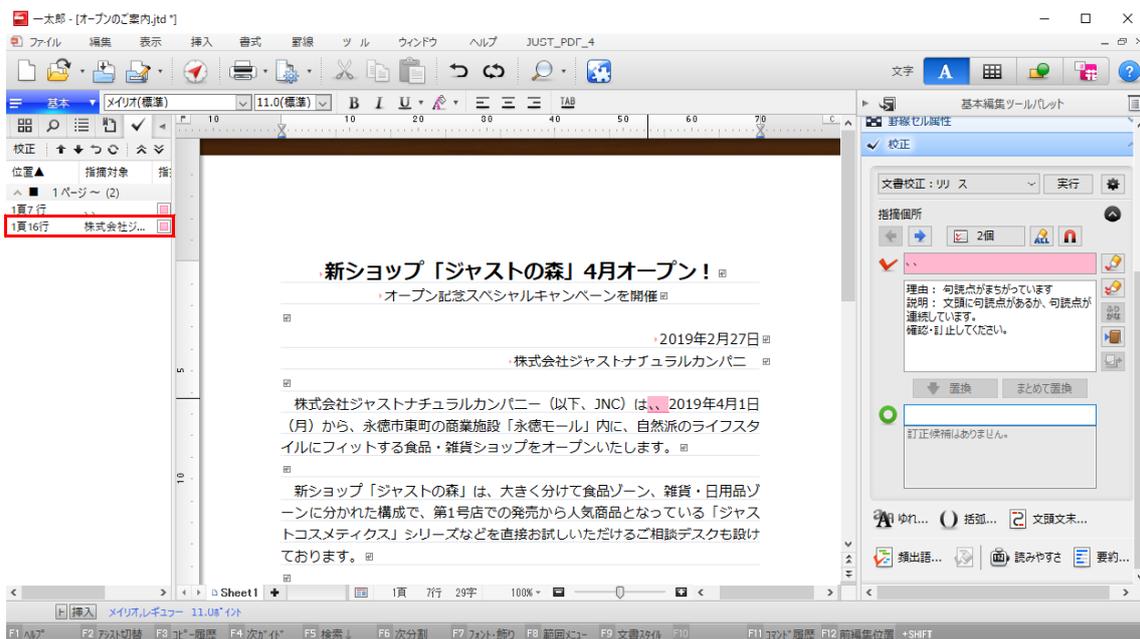
6. 新たに作成した校正設定を選択し、[実行] をクリックします。



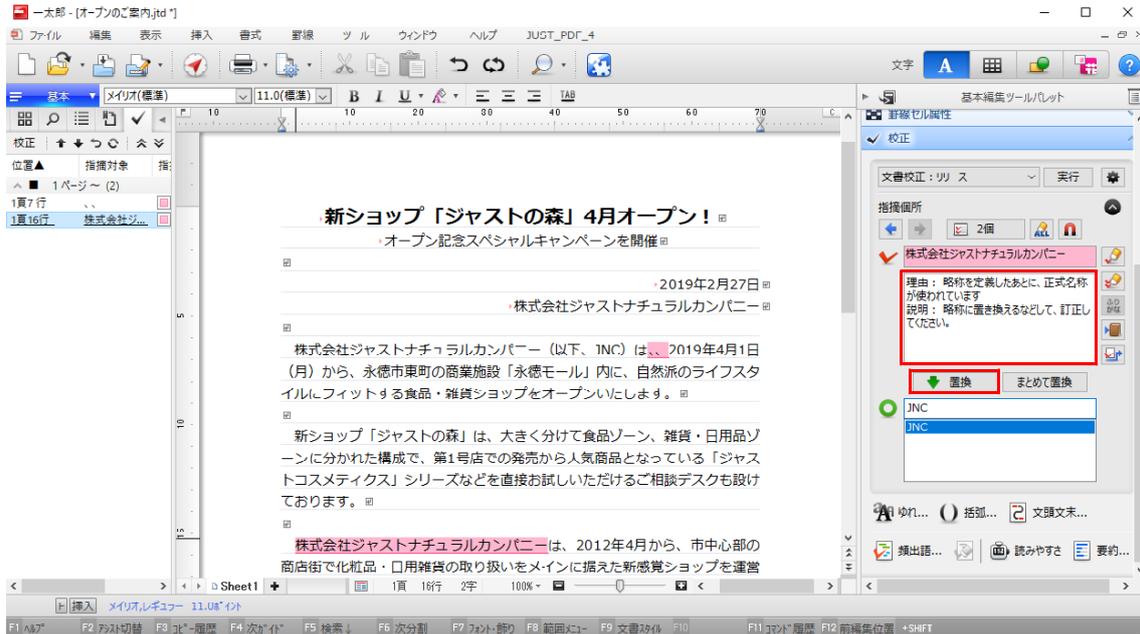
7. 文書校正が実行され、[指摘表示] ダイアログボックスが表示されます。[ジャンプパレットに一覧を表示する] がオンになっていることを確認し、[閉じる] をクリックします。



↓
8. ジャンプパレットに指摘項目が表示されるので、修正したい指摘個所をクリックします。



9. [校正] パレットに指摘された理由が表示されるので確認し、置換候補を選択したら、[置換] をクリックします。



10. 修正が反映されました。

